

開講科目名 Course	租税法研究 (A) / Tax Law III (A)
時間割コード Course Code	13330
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	月 / Mon 5
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	宮崎 清幸
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	宮崎 清幸 (法学部)
授業の目標	
授業の概要	<p>【授業の目的】 租税法の基本的な考え方を理解し、税制が変わっても実務で使えるよう構造を把握する。租税法における基本的アプローチを確認することにより、修士論文作成のための基礎力を養成する。</p> <p>【授業全体の概要】 講義、リーガル・ライティング、討議から構成される。講義、討議は、租税法の理論等の理解するため重要判例を取り上げる。講義、討議を通して、租税法の基礎理論の習得を目指す。 受講に当たっては、事前に指示した参考文献や裁判例を読み、疑問点などを整理しておく。復習に当たっては、判例評釈等を確認し理解を深める。なお、随時、レポートの提出を求める。</p> <p>【授業の進行】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 2. 租税とはなにか 3. 租税法とはなにか 4. 租税法の基本原則 5. 税法の解釈 6. 実質課税 7. 理由付記 8. リーガル・ライティングとは 9. 重要判例を用いた討議 10. リーガルライティングの実践 11. 重要判例を用いた討議 12. リーガル・ライティングの実践 13. 重要判例を用いた討議 14. リーガル・ライティング 15. 前期のまとめ <p>質問等は、適宜受け付ける。 この科目の位置づけについては、本学HPのナンバリングを参照すること</p> <p>【評価方法】 レポート (50%) および授業への取り組み (50%) で評価する。 なお、提出したレポートの講評は、講義中に行う。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	
授業計画	
テキスト	適宜、講義の中で紹介する。

参考書	中里実ほか編「租税法概説（第3版）」（2018年、有斐閣） 中里実ほか編「租税判例百選（第6版）」（2016年、有斐閣） 金子宏ほか編「ケースブック租税法（第5版）」（2017年、弘文堂）
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	